

▼カルスロット錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 マニジピン塩酸塩 manidipine hydrochloride 【分類】 Ca 拮抗薬

【単位】 ▼5mg・▼10mg・▼20mg/錠

【常用量】 5mg/日から開始し、維持量 10～20mg/日

【用法】 分 1

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1) 【PD】 排液が混濁することがあるため腹膜炎との鑑別に留意 (Yoshimoto K, et al: Clin Nephrol 50: 90-3,1998)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【特徴】 ジヒドロピリジン系の Ca 拮抗剤。本剤の降圧効果は、他の Ca 拮抗剤と比較して緩徐であるが、持続性に優れ、血圧日内リズムを変えることなく 24 時間にわたり安定した降圧効果が見られる。また、心臓への作用が明らかに軽度で、血管特異性が高い。

【主な副作用・毒性】 動悸、頭重、頭痛、めまい、嘔気、味覚異常、顔面紅潮、顔のほてり、LDH 上昇など

【F】 おそらく小さい (5)

【tmax】 3.6±1.4hr (20mg 投与) (1)

【代謝】 肝で代謝され、CYP3A3、CYP3A4、CYP3A5、CYP2C8、CYP2E1 が関与 (1) ヒトの代謝産物は不明であるが、代謝物に活性はない (1)

【排泄】 尿中排泄率 2～5% (代謝物のみ) (1)

【t1/2】 α 相 1.5±0.3hr, β 相 7.3±2.3hr (1)

【蛋白結合率】 99.6～100% (1)

【Vd】 データなし (1)

【MW】 683.62

【透析性】 透析されない (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【O/W 係数】 有機層に分配 [クロロホルム系] (1) 【pKa】 2.46, 6.28 (1)

【効果発現時間】 0.5～1hr (1)

【効果持続時間】 24hr (1)

【更新日】 20180410

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。